

報道関係者各位

～ 日本と世界をよくするための「新しい力」が、ここに ～
「問い直せ！日本の力～ソーシャルパワー元年～」
日本最大級の環境展示会
エコプロダクツ2009

期間中の取材のお願い

12月10日(木)～12日(土) 10:00～18:00〔12日(土)は10:00～17:00〕

東京ビッグサイト 東1～6ホール

(社)産業環境管理協会と日本経済新聞社は、12月10日[木]～12日[土]の3日間、東京国際展示場(東京ビッグサイト)において、「エコプロダクツ2009」を開催いたします。

開催11回目を迎える今年のテーマは「問い直せ、日本の力～ソーシャルパワー元年～」。

本展は、国内最大級の721の企業・団体、そして、NGO・NPO、行政・自治体、大学・研究機関が出展、ビジネスパーソン、行政、自治体、NPO・NGO、市民グループ、一般生活者、環境学習で来場する約2万人の子供たちといった、18万人(見込み)の来場者が、それぞれのスタイルでエコライフの実現を考える、日本最大級の環境展示会です。

これらすべての人々が、エコプロダクツを当たり前のように使う時代を迎えるよう、そして、技術の力、新しいアイデアやシステムが繋がりがあい、新しい力＝ソーシャルパワーとなることによってよりよい環境、よりよい社会に向かうよう…今年のテーマには、そんな思いを込めています。

そんな明るい未来をつくるための様々な企画、商品、サービスを「エコプロダクツ2009」では紹介して参ります。

さらに、ご当地の魅力がギュッと詰まった人気の地域ブランド商品が大集合の「地域食とものづくり総合展2009」を同時開催。試飲、試食、販売なども会場で行います。ぜひ、食の安全や、日本の農業やものづくりについて考えるきっかけにしていきたい展示会です。

ついては、ぜひ、ご取材のほどよろしくお願ひいたします。取材の登録に関しては最終ページをご覧ください。

尚、本展の見どころのご紹介や、温室効果ガス削減に関して当展の実行委員長が語る記者説明会を12月10日(木)11:00より開催いたします(詳細は別紙参照)。こちらにも参加を検討いただけると幸いです。

■本資料に関するお問い合わせ先

「エコプロダクツ2009」広報事務局 共同PR株式会社内 担当:安田、宇津木、渡辺幸映さちえ

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

TEL/03-3571-5238 FAX/03-3571-5380 e-mail:m-yasuda@kyodo-pr.co.jp



「エコプロダクツ 2009」の見どころ（総合・ビジネス向け）

*（ ）は出展社名、小間番号

■ まるで立体版環境報告書。あらゆる分野のエコプロダクツ、サービスが一堂に ■

◎700以上の出展者があらゆる分野のエコプロダクツを紹介！

幅広い分野のエコプロダクツやサービスが展示されます。ビジネスパーソン、行政、自治体、NPO・NGO、市民グループ、一般生活者、環境学習目的の小中高生など、様々な層から18万人（見込み）が来場し、展示を通して出展者の環境への取り組みを体験します。

【出展分野】 エネルギー／家電／事務機器、情報通信機器／印刷／文具・事務用品／
自動車、運輸、輸送用機器・部品／住宅、住宅設備／建築・建材／各種エコ素材／容器・包装／
流通、物流／衣料、日用品／食品、飲料／エコレジャー／金融／エコ関連サービス／安心・安全、健康

■ 注目の環境キーワード「生物多様性」を分かりやすく紹介 ■

来年名古屋で開催される COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)を前に注目を集めている「生物多様性」について分かりやすく解説する「生物多様性ゾーン」。生物多様性保全の大切さ、企業にとっての生物多様性の重要性を紹介するほか、会場近くの公園で自然観察を行うツアーや、都会に残る自然の生態系などをわかりやすく解説します。さらに、健全な生態系と生物多様性によって経済活動は成り立つ、という認識の下、新たなビジネスやステークホルダー間で生まれつつある連携や企業の最新取り組み、新しい指標の活用について事例を交えて紹介します。

■ 「エコ」が生み出すビジネスチャンス ■

◎「エコ」が生み出すビジネスを支援。環境をテーマにしたビジネスマッチングを実施

「環境」をテーマに中小ベンチャー企業の新たなビジネスを創出する大規模なビジネスマッチング「SMFG 環境ビジネスフォーラム in エコプロダクツ 2009」が連日開催されます。各々の商談、ブース展開に加え、環境ビジネスの問題解決に繋がるセミナーなど、エコビジネスの芽を育てる試みを多数行います。（小間 No.SM-1～SM-43）

◎COP15 と同時期開催。低炭素社会の実現に向けた社会のあり方とは？ 記念シンポジウムで議論

「本当の豊かさのために日本のエネルギー革命～点と点から面的広がりへ」と題し、三菱総合研究所理事長 小宮山宏氏の基調講演「課題先進国日本ー低炭素社会への取り組み」のあと、低炭素社会の実現に向けた技術と社会の融合、世界の中で日本が求められる役割についての討論を行います。（10日 12:30、会議棟 7F 国際会議場）。

◎大学の環境対応を応援！ 設備・機器情報や管理体制づくりのノウハウを共有◎

企業などに比べて施設の環境対応が遅れているとされる大学。しかし設備機器メーカーや学生、市民団体などと連携し、様々な課題を乗り越えた大学も出てきました。「大学の環境対策推進コーナー」では、これらの成功事例を紹介し、設備・機器の情報を提供するとともに、関係者のマッチングの場をつくっていきます。関連シンポジウムでは、岩手大学やフェリス女学院大学などが事例を紹介します。（11日 13:00～、東2ホール会議室）

◎CO₂排出量を見える化。カーボンフットプリントを暫定表示した商品を展示

資源採掘から廃棄まで、商品のライフサイクルから排出されるCO₂を数値化し、商品に表示しようとする試み「カーボンフットプリント」。制度化に向けて議論が繰り広げられています。カーボンフットプリントコーナー（小間 No. 1-001）でカーボンフットプリントを算定・表示した商品が多数展示されるほか、サッポロビール（小間 No. 5-023）、トンボ（小間 No.



4-072)などで、関連商品の展示を行います。さらに、12日(土)10:00より、会議棟1Fにて制度説明会が開催されます。

■ エコアワードも「エコプロダクツ 2009」に集結！ ■

環境負荷の低減に配慮した優れたエコプロダクツを表彰する「第6回エコプロダクツ大賞」の表彰式(10日 10:10～環境コミュニケーションステージ)と事例発表会(10日 13:30 会議棟7F)、エコのアイデアを育てるコンテスト「eco japan cup2009」の受賞作品の展示(小間 No. 1-901)などのエコアワードが一堂に！ 会場内で表彰式や展示を行います。

「エコプロダクツ 2009」の見どころ (一般向け)

■ 家庭に眠っている衣類お持ち下さい。代わりにお気に入りの服をゲット！！ ■

「浪費はしたくない、でもおしゃれは楽しみたい」という人は必見！ 「お金を全く介在せずにお洒落な生活を！」をテーマに誰でも参加できる古着の交換会を会場内で実施します。着なくなった服、はかなくなった靴、もう身につけないアクセサリーなど、お家で眠っているファッションアイテムをお持ちいただければ、代わりにお気に入りの洋服を差し上げます。成長の早い子供たちのため、子供服エリアも設置！

さらに、使わなくなった携帯電話や家庭に眠っている小型家電の回収、一般ゴミとして処理されがちな家庭用インカートリッジの回収を行い、身近な「ゴミ」になってしまうものを通じ、より多くの皆様にリユースやリサイクルについて考えるきっかけを提供します。(エコプロゴミゼロ大作戦)

■ エコ雑貨から、ご当地の魅力がギュッと詰まった人気地域ブランドまで！ 試食、試飲、販売も！ ■

毎日の生活を豊かにするエコ雑貨や安心コスメ、フェアトレード商品を購入できるエリア「グリーンストアーズ」では、地球や動植物、そして人に思いやりのあるライフスタイルを提案します。そして、毎年大人気のフードコート「エコごはん＆スイーツ」も設置！ エコ弁当に新鮮サラダ、安心スイーツ、ドリンクなど素材や作り方など食にこだわった厳選ブランドが勢ぞろいです。「新しい農的資源活用コーナー」では、毎日新鮮野菜の販売を行うほか、気軽に野菜づくりを体験できるプログラムを多数紹介、その場で担当者と相談することもできます。

そして、ご当地の魅力がギュッと詰まった人気の地域ブランド商品が大集合の「地域食とものづくり総合展 2009」を同時開催！ 試飲、試食、販売なども会場で行います。

■ エコドライブ & 自転車のある生活を体験、体感 ■

人気企画「エコカー乗車体験」を今年も実施！ 電気自動車や水素で走る燃料電池車など魅力的なエコカーに同乗してお台場周辺を走行できます。また、エコドライブ体験教習車で環境に優しい運転を学ぶこともできます。

また、今年大きな注目を浴びた自転車情報がギュッと詰まった「エコサイクルシティ」を設置。電動アシスト自転車の乗車体験も実施します。展示会場に自転車で来る人のための駐輪場も用意！ 自転車で来場した人から毎日先着 200名にホットコーヒーをご用意しています。

■ 子どもたちが楽しくエコを学ぶ学校を開設！ ■

様々な授業や実験・展示を通して、エコ技術のしくみや効果を体験する「ジュニアグリーンスクール」を開校！ 参加企業が工夫をこらした環境教育プログラムで、子どもたちも楽しく学ぶことができます。



■ 就職、転職もエコをキーワードに ■

就職氷河期の再来が話題になる中、「環境」をテーマに就職や転職を考える人も。「『環境』就職・進路相談会」には、様々な企業・行政・NPOなどで環境の仕事をしている社会人50名が集結。対話形式で具体的な仕事の内容、環境の仕事の実態などの質問に答えます。(12日のみ/東2ホール主催者室)

■ガイドと一緒に回ろう 会場内エコツアー■

「どこから回ったらいいかわからない」「自分の気になる分野を効率的に回りたい」という方には「会場内エコツアー」がおすすめ。今年は「エコ入門！身近なエコ実践」「家族で楽しむエコライフ！」「エコビジネス最前線1・2」「エネルギー×エコ」「始めよう！循環型ライフ」の6つのコースを用意しました。また環境問題を身近に感じ、企業や団体が取り組む環境活動を学ぶ、小中学生のためのツアー「エコネコ探検隊」や、「海外来場者向け英語／中国語／韓国語ツアー」も実施します。どちらも無料で参加できます。

■多彩なステージイベント、シンポジウム&セミナー■

「環境コミュニケーションステージ」には今年も多彩なゲストが登場し、環境にまつわる楽しいトークショーやライブを行います。

女優・大和悠河さん 「エコ・クッキングフォーラム」(11日 14:00～)

落語家・林家たい平さん 「僕は落語界一のエコ男」(10日 16:10～)

歌手・NPO 法人国境なき楽団 代表・庄野真代さん タイトル未定(11日 12:00～)

ヴァイオリニスト・葉加瀬太郎さん ほか タイトル未定(11日 13:00～)

タレント・モデル 中野裕太さん タイトル未定(11日 11:00～)

南極料理人・西村淳さん 「南極料理人のエコエコ相談室リターンズ」(10日 14:00～)

環境冒険家・中溪宏一さん 『『転職、木を植える男』 中溪 宏一』(10日 13:00～) ほか

また、様々な出展者がエコプロダクツや環境技術の使い方・応用、製品開発から社会貢献活動、エコな暮らし方のちょっとしたコツまで、15分で紹介する「エコプレゼンテーションステージ」「ネットワークステージ」を設け、コンパクトに様々なエコスタイルを学んでいただけます。



開催概要

- 名称: エコプロダクツ 2009[第11回]
- 会期: 2009年12月10日[木]~12日[土] 10:00~18:00[12日(土)は10:00~17:00]
- 会場: 東京ビッグサイト(東展示棟) 東1~6ホール
- 入場料: 無料(入場登録制)
- 主催: (社)産業環境管理協会、日本経済新聞社
- 後援: 経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省、(社)日本経済団体連合会、(社)経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、日本貿易振興機構、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県[順不同]
- 協力: (社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会、グリーン購入ネットワーク、(財)日本環境協会、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国小中学校環境教育研究会[順不同]
- メディア協力: 日経 Ecolomy、日経 BP 環境経営フォーラム、日経エコロジー、ecomom、環境 goo、GREENSTYLE、J-WAVE、ソトコト、環境新聞、教育新聞、日本教育新聞
- 来場対象: ・企業経営者、企業の購買部門、環境管理部門、製品・商品開発部門、経営戦略部門、社会貢献部門 など
・自治体・官公庁の地域振興部門、購買部門、環境部門 など
・各業界団体、地域産業・商工団体 など
・一般消費者(ファミリー層、主婦、学生、小・中・高生)
・環境 NPO・NGO 団体、市民グループ、環境に関心のある方
- 来場者数: 180,000 人、見込み(前回実績:173,917 人)
- 展示規模: 約 721 社・団体/1,735 小間 (前回出展実績:758 社・団体/1,796 小間)
- 同時開催: バイオマス展 2009(主催: バイオマス展実行委員会、共催: 日本経済新聞社)、
地域食とものづくり総合展 2009(主催: 日本経済新聞社)
- 来場者からのお問い合わせ先
公式サイト <http://eco-pro.com>
フリーダイヤル 0120-261-122 (9:00~18:00 土・日・祝日を除く) ※12月25日までのご案内です。

プレスルーム、プレス登録のご案内

開催期間中、プレスルーム(報道受付を併設)を設置いたします。

プレス証(取材・撮影用)は、報道受付にて配布いたします。

館内の撮影、取材の前にお立ち寄りいただきますようお願いいたします。

プレスルーム: 東京国際展示場「東京ビッグサイト」東5ホール商談室(1)

TEL: 03-5530-1623

FAX: 03-5530-1624

